

事業所名		こども発達未来スタジオippo				支援プログラム（児童発達支援）				作成日		令和8	年	7	月	1	日	
法人（事業所）理念		成長起点、人生にきっかけを。																
支援方針		発達 の 土台をチームで支える「はじめの療育」 発達・成長の土台を“関わり”や“環境面”から整え、子どもの可能性の芽をみつけ、広げる																
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		ありなし						
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	■「安心して生活する力」の土台づくり ・生活リズム（食事・排泄・睡眠等）を整えるため、一人ひとりの発達段階や特性に合わせた関わりを行い、安心して過ごせる教室環境を整える。 ・視覚的支援や一定の流れを用い、見通しをもって行動できるよう支援し、「できた」という達成感を積み重ねる。																
	運動・感覚	■ 身体を通して「できた」を感じる経験 ・粗大運動・微細運動を遊びの中に取り入れ、楽しみながら身体を動かせる機会を提供する。 ・感覚特性に配慮しながら、無理のない挑戦を通して「できた」と感じられる成功体験を積み重ね、自己肯定感を育む。																
	認知・行動	■学びの基礎となる力を育てる ・遊びや課題を通して、切り替えや順番、ルールへの理解を促す関わりを行う。 ・一人ひとりの理解度に応じた支援により、「わかった」「できた」を実感できる経験を積み重ね、行動面の安定につなげる。																
	言語 コミュニケーション	■「伝わる」「わかってもらえる」体験 ・発声や模倣、やりとり遊びを通して、伝える・受け取る経験を大切にしたい関わりを行う。 ・絵カードやジェスチャー等を活用し、自分の気持ちや要求を安心して表現できる力を育てる。																
	人間関係 社会性	■人と関わることへの安心感 ・大人との安定した関係づくりを基盤とし、安心できる小集団の中で人と関わる経験を広げる。 ・一人ひとりのペースを大切にしながら、「関われた」「一緒にできた」という成功体験を積み重ねる。																
家族支援		はじめて療育を利用する保護者の不安や思いを丁寧に受け止め一緒に関わり方や支援方法を考えおこなっていく。不安や疑問があった時などに相談できる環境を整え「一人で抱えない」を大切に支援する。							移行支援		就学・進級・進学等の環境の変化に向けて、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもが安心して次のステップへ移行できるよう支援を行う。							
地域支援・地域連携		家庭・園や学校・関係機関と連携し、情報共有を大切にしながら、子どもが安心して地域で生活できる力を育む。公共施設の利用や外出体験等を通して、社会経験を広げる支援を行う。							職員の質の向上		定期的に行う全体会議や研修を通じて、職員の資質向上・支援の方向性の共有を行なっている。また、障がいへの理解・職員個人の能力向上を目的とした福祉専門eラーニングシステムを活用し、全スタッフ動画講座の受講を必須としている。☑							
主な行事等		■からだであそぶ！ チャレンジデー：公園遊び・室内遊具遊び・プールなどで体と感覚を育てる。■つくって伝える！ 気持ちアート：制作活動を通して気持ちや好きなことを表現し、「伝わる」「聞いてもらえる」経験につなげる。■みんなでできるもん！ お友達とクッキング体験・工程のある活動に取り組み、見通しをもって行動する力や達成感を育てる。■ippoフレンドパーク：チームで楽しむ「協力ミッション」・小集団での活動を通し、人と関わりながら一緒に取り組む経験を大切にする。■いっぱいでGO：公園や地域施設での体験を通して、季節や環境への興味を広げる。																